♥読み聞かせやボランティア〝てぶくろ〟のお話会「絵本の読み聞かせと紙芝居」が1月25日(土)14時～15時、厚別図書館・1階お話室(厚別区役所併設)で開かれる。入場無料。当日直接会場へ。おはなしは当日のお楽しみ。問／同図書館☎894－1590。

「親子で遊ぼう☆ヒントがいっぱい」

1月25日、野幌公民館

冬の1日、親子でリズム運動や、手遊び、体を使って遊ぼう！江別生涯学習インストラクターの会の子育て支援事業「親子で遊ぼう☆ヒントがいっぱい」が1月25日(土)午前10時30分～11時30分、野幌公民館1階和室(野幌町13－6、JR野幌駅8分)で開かれる。参加無料。対象は0歳～3歳の幼児とその保護者で先着20組。事前申し込みほか、当日参加も受け付けるという。

講師は、風の子文庫の真島紀恵子さんと片桐亜結子さん。絵本や遊びを通しての、子育てのヒントを親子で実践しながら学ぶ。「身近なものでおもちゃを手作り」のヒントもあるという。

申し込み・問い合わせ／同会・松山さん☎383－5751(留守電対応)。

市民フォーラム2020「サケと生きる」

1月25日、札幌エルプラザ

札幌ワイルドサーモンプロジェクト(SWSP)が主催する市民フォーラム2020「サケと生きる」が1月25日(土)午後1時～4時30分、札幌エルプラザ・3階ホール(北8西3、JR札幌駅北口3分地下通路直結)で開催される。入場無料。当日直接会場へ。

主なプログラムは次の通り。◇基調講演▽「サケからみたアイヌ社会」(13時10分～)…講師は札幌大学の瀬川拓郎教授。▽「三陸からみたサケと人との関わり」(13時40分～)…講師は東京大学大気海洋研究所の青山潤教授。▽「パネルディスカッション」(14時10分～)。▽「札幌大学ウレシパクラブ」(15時30分～)＝学生たちがアイヌの劇と演舞を披露。

問い合わせ／SWSP事務局☎582－7555。

瀬川拓郎教授

青山潤教授

大内定義氏が「名誉市民」に

1月24日、市役所

江別市は、元市長の大内定義氏を名誉市民とすることを決定した。

大内氏は、1971年から1979年まで江別市長を務めた。

大型犬保育科の学生や専任スタッフと冬遊び！

子育て支援センター「ぐーまー」「ふゆまつり」

1月25日、札幌大谷短大

札幌大谷大学短期大学部保育科子育て支援センター「ぐーまー」の「ふゆまつり」が1月25日(土)午前10時～午後3時、同大学A棟(東区北16東9、地下鉄東区役所前駅10分)で開かれる。入場無料。当日直接会場へ。

同大学の学生とNPO法人子育て応援かざぐるまの専任スタッフや教員と、ソリ遊びや雪遊びを楽しむほか、学生による演奏会などもある。午後1時15分～2時までは食堂も営業しているとのこと。

問い合わせ／同センター☎742－1690。

約90人が参加する詩吟の発表会…

江別市内で活動する詩吟の団体など約90人が吟ずる「第46回新年交歓吟詠大会」が1月26日(日)昼12時～午後4時、えぽあホール(江別市民文化ホール／大麻中町26－7、JR大麻駅5分)で開かれる。入場無料。直接会場へ。

問い合わせ／林正さん☎387－2228。

「色とあかり」にスポット…あかりによる色の違い体験も

「安心・快適シニア世代のインテリア」

1月31日、かでる2・7

「色とあかり」にスポットを当て照明の使い方、コツを学ぶ。

「第46回新年交歓吟詠大会」

1月26日、えぽあホール

「綺麗な花の育て方と街を彩る植栽術」

2月4日、野幌公民館

花や緑をいかした様々な環境づくりに取り組み、北海道に魅力的な景観を生み出している、㈲緑花計画代表取締役の笠康三郎氏を迎える、花のある街並みづくり講演会「花のプロから学ぶ綺麗な花の育て方と街を彩る植栽術」が2月4日(火)午後1時30分～3時30分、野幌公民館ホール(野幌町13－6、JR野幌駅8分)で開かれる。参加無料。定員は先着100人。申し込みは1月31日(金)まで。

健全で美しい花の育て方や植栽術について講演してもらう。笠氏は、愛媛県松山市出身。北大農学部非常勤講師、北海道フラワーマスター認定講習会講師、大通花壇コンクール審査員などの公職を務めるほか、滝野公園カントリーガーデンや旭川北彩都ガーデン、大雪森のガーデン、十勝ヒルズなどの整備を手がけているという。

申し込み・問い合わせ／江別市民憲章推進協議会事務局(江別市役所環境課)☎381－1046。

瀬川拓郎教授

氷濤まつり

2020年干歳・支笏湖

1月24日(金)～2月16日(日)9時～22時、支笏湖温泉一帯。スプリンクラーを使い、湖水を凍らせて作った大小さまざまな氷のオブジェが演出する幻想的な世界を楽しむお祭り。期間中の土・日・祝日は18時30分から花火が打ち上がるほか、氷の上で永遠の愛を誓う「氷濤(ひょうとう)ウエディング」、力強い和太鼓の演奏を楽しむ「氷濤ダイナミックナイト」、氷切りゲーム大会、フラワープレゼントなど、さまざまなイベントも。氷のオブジェを色とりどりに照らすライトアップは、16時30分から。支笏湖まつり実行委☎0123－23－8288。

幻想的な世界を演出するオブジェのライトアップ(千歳市)

第29回しんとつかわ雪まつり

1月26日(日)10時～14時、新十津川町農村環境改善センター前広場・北中央公園。一般公募の10団体が作った個性豊かな鍋料理を格安で販売し、来場者の箸(はし)の投票で大賞を決める「冬鍋大会」と、特大中華鍋に座って雪の土俵で押し相撲を繰り広げる「国際中華鍋押相撲選手権大会－WAJIMA－」(9時15分参加受付、先着順)をメインイベントに、寒い冬を温かく過ごすお祭り。会場ではジャンボすべり台や幼児向けのミニすべり台が設置され、100～200円で味わえる冬鍋のほか、地元の出店販売、餅まき、甘酒配布、〝札沼線ラストラン抽選会〟なども。しんとつかわふるさとまつり実行委(新十津川町産業振興課)☎0125－76－2134。

日程などが変更になる場合もありますので、事前に確認の上お出かけ下さい。

バランス感覚が問われる〝中華鍋押相撲〟(新十津川町)

道内のイベント

読者5組10人

生演奏で楽しむ人形劇…人形展も

人形劇「氷の魔女と太陽の子ら」

2月15日、やまびこ座ほか

多数の人形劇団が合同で作る、人形劇フェスティバル2020年さっぽろ冬の祭典の「氷の魔女と太陽の子ら」が2月15日(土)、16日(日)①午前11時②午後2時、札幌市こどもの劇場やまびこ座(東区北27東15)、2月22日(土)、23日(日)①午前11時②午後2時、札幌市教育文化会館・小ホール(北1西13、地下鉄西11丁目駅1番出口5分)で開かれる。1月28日(火)必着。

問い合わせ／札幌人形劇協議会☎753－2858。

「氷の魔女と太陽の子ら」

読者5組10人を招待

札幌大谷大学短期大学部保育科子育て支援センター「ぐーまー」の「ふゆまつり」が1月25日(土)午前10時～午後3時、同大学A棟(東区北16東9、地下鉄東区役所前駅10分)で開かれる。入場無料。当日直接会場へ。

同大学の学生とNPO法人子育て応援かざぐるまの専任スタッフや教員と、ソリ遊びや雪遊びを楽しむほか、学生による演奏会などもある。午後1時15分～2時までは食堂も営業しているとのこと。

問い合わせ／同センター☎742－1690。

約90人が参加する詩吟の発表会…

「第46回新年交歓吟詠大会」

1月26日、えぽあホール

江別市内で活動する詩吟の団体など約90人が吟ずる「第46回新年交歓吟詠大会」が1月26日(日)昼12時～午後4時、えぽあホール(江別市民文化ホール／大麻中町26－7、JR大麻駅5分)で開かれる。入場無料。直接会場へ。

問い合わせ／林正さん☎387－2228。

「色とあかり」にスポット…あかりによる色の違い体験も

「安心・快適シニア世代のインテリア」

1月31日、かでる2・7

「色とあかり」にスポットを当て照明の使い方、コツを学ぶ。

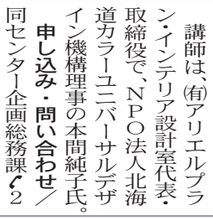
お買い得品がいっぱい

トンデンファームの工場直売市

1月25日・26日、トンデンファーム

工場直売ならではのお買い得商品が満載の「ガーデンセール」が1月25日(土)・26日(日)の午前9時30分～午後5時、トンデンファーム(元野幌9681－5、インター線沿い)で開催される。セールでは大人気の袋入りウインナー(粗挽・ハーブ入り・チーズ入り)や直下式炭火製法でじっくりとスモークされた石狩川ベーコンスライス、特製の醤油ダレが大好評の煮豚、ベーコン入りソーセージ、ショルダーベーコンなどが2日間限りの特別価格で販売されるほか、当日店頭発表の特価品も。自社直営白老牧場で育てた和牛やブランド豚「北海道江別豚(えべとん)」などの精肉も販売する。炭火焼スモークチキンなどの実演販売のほか、屋台コーナーでは炭焼きソーセージや石狩川ベーコン入りコロッケ、牛スジおでん、モツ煮汁などがその場で味わえる。

問い合わせ／トンデンファーム☎383－8208。


できたてを味わえる屋台コーナーも

ぎゃらりぃ

繊細で華やかな〝線の魔術〟チェコ出身の芸術家「みんなのミュシャ」展

1月25日～、芸術の森

アール・ヌーヴォーを代表する芸術家アルフォンス・ミュシャ(1860－1939)。彼が紡ぎだした、「線の魔術」ともいえる華やかなポスターは、没後80年経った今なお、世界中の人たちを魅了し続けています。本展は、ミュシャが手がけたポスターなどのグラフィック作品はもとより、彼の作品に強い影響を受けた日本の明治期の文芸誌、1960年代を中心にアメリカ西海岸やロンドンで一大ムーヴメントを巻き起こしたグラフィック・アート作品、そして、日本のマンガ家やグラフィック・アーティストの作品など、およそ250点を展示。作品を通して、時代を超えて愛されるミュシャの秘密をひも解く、かつてない試みです(案内より)

――〝みんなのミュシャ〟ミュシャからマンガへ――線の魔術〟が1月25日(土)～4月12日(日)午前9時45分～午後5時(入館は午後4時30分まで)、札幌芸術の森美術館(南区芸術の森2丁目75)で開かれる。料金は一般1500円(前売1300円)、高校・大学生800円(600円)、小・中学生600円(400円)。会期中は毎週月曜日休館。ただし、2月24日(月・休)は開館、25日(火)は休館とのこと。

◇**関連イベント**▽「学芸員によるギャラリーツアー」…1月31日(金)、2月20日(木)、3月25日(水)各日午後2時から(40分程度)、条12丁目)で開かれる。観覧無料。

彫刻家、版画家、造形作家、木工家、学生らの作品を展示

「さっぽろ雪像彫刻展2020」

1月24日～26日、本郷新美術館

「さっぽろ雪像彫刻展2020」が1月24日(金)～26日(日)午前10時～午後5時30分、本郷新記念札幌彫刻美術館本館前庭・中央区宮の森4条12丁目で開かれる。観覧無料。

彫刻展には、彫刻家、版画家、造形作家、木工家、専門学校のクラフトデザイン専攻、大学の彫刻ゼミの学生らが出展。期間中は「オリジナル缶バッジづくり」も。

問い合わせ／本郷新記念札幌彫刻美術館☎642－5709。

本郷新記念札幌彫刻美術館で「雪像彫刻展」

声ガイド「1」…35分程度、同美術館展示室、料金は600円＝ナビゲーターは千葉雄大さん。2部構成のガイドで第1部は「ミュシャが生きたアール・ヌーヴォーの時代のドラマ風ガイド」第2部は「現代におけるミュシャ観に迫る、ドキュメンタリータッチのガイド」。

問い合せ／札幌芸術の森美術館☎591－0090。

彫刻家、版画家、造形作家、木工家、学生らの作品を展示

「さっぽろ雪像彫刻展2020」

1月24日～26日、本郷新美術館

「さっぽろ雪像彫刻展2020」が1月24日(金)～26日(日)午前10時～午後5時30分、本郷新記念札幌彫刻美術館本館前庭・中央区宮の森4条12丁目で開かれる。観覧無料。

彫刻展には、彫刻家、版画家、造形作家、木工家、専門学校のクラフトデザイン専攻、大学の彫刻ゼミの学生らが出展。期間中は「オリジナル缶バッジづくり」も。

問い合わせ／本郷新記念札幌彫刻美術館☎642－5709。

本郷新記念札幌彫刻美術館で「雪像彫刻展」

読者5組10人

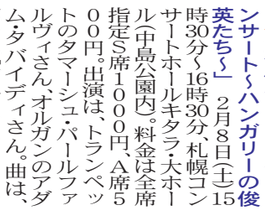
生演奏で楽しむ人形劇…人形展も

人形劇「氷の魔女と太陽の子ら」

2月15日、やまびこ座ほか

多数の人形劇団が合同で作る、人形劇フェスティバル2020年さっぽろ冬の祭典の「氷の魔女と太陽の子ら」が2月15日(土)、16日(日)①午前11時②午後2時、札幌市こどもの劇場やまびこ座(東区北27東15)、2月22日(土)、23日(日)①午前11時②午後2時、札幌市教育文化会館・小ホール(北1西13、地下鉄東11丁目駅1番出口5分)で開かれる。1月28日(火)必着。

問い合わせ／札幌人形劇協議会☎753－2858。


「氷の魔女と太陽の子ら」

読者5組10人を招待

札幌大谷大学短期大学部保育科子育て支援センター「ぐーまー」の「ふゆまつり」が1月25日(土)午前10時～午後3時、同大学A棟(東区北16東9、地下鉄東区役所前駅10分)で開かれる。入場無料。当日直接会場へ。

同大学の学生とNPO法人子育て応援かざぐるまの専任スタッフや教員と、ソリ遊びや雪遊びを楽しむほか、学生による演奏会などもある。午後1時15分～2時までは食堂も営業しているとのこと。

問い合わせ／同センター☎742－1690。

約90人が参加する詩吟の発表会…

「第46回新年交歓吟詠大会」

1月26日、えぽあホール

江別市内で活動する詩吟の団体など約90人が吟ずる「第46回新年交歓吟詠大会」が1月26日(日)昼12時～午後4時、えぽあホール(江別市民文化ホール／大麻中町26－7、JR大麻駅5分)で開かれる。入場無料。直接会場へ。

問い合わせ／林正さん☎387－2228。

「色とあかり」にスポット…あかりによる色の違い体験も

「安心・快適シニア世代のインテリア」

1月31日、かでる2・7

「色とあかり」にスポットを当て照明の使い方、コツを学ぶ。

「綺麗な花の育て方と街を彩る植栽術」

2月4日、野幌公民館

花や緑をいかした様々な環境づくりに取り組み、北海道に魅力的な景観を生み出している、㈲緑花計画代表取締役の笠康三郎氏を迎える、花のある街並みづくり講演会「花のプロから学ぶ綺麗な花の育て方と街を彩る植栽術」が2月4日(火)午後1時30分～3時30分、野幌公民館ホール(野幌町13－6、JR野幌駅8分)で開かれる。参加無料。定員は先着100人。申し込みは1月31日(金)まで。

健全で美しい花の育て方や植栽術について講演してもらう。笠氏は、愛媛県松山市出身。北大農学部非常勤講師、北海道フラワーマスター認定講習会講師、大通花壇コンクール審査員などの公職を務めるほか、滝野公園カントリーガーデンや旭川北彩都ガーデン、大雪森のガーデン、十勝ヒルズなどの整備を手がけているという。

申し込み・問い合わせ／江別市民憲章推進協議会事務局(江別市役所環境課)☎381－1046。

幻想的な世界を演出するオブジェのライトアップ(千歳市)

氷濤まつり

2020年干歳・支笏湖

1月24日(金)～2月16日(日)9時～22時、支笏湖温泉一帯。スプリンクラーを使い、湖水を凍らせて作った大小さまざまな氷のオブジェが演出する幻想的な世界を楽しむお祭り。期間中の土・日・祝日は18時30分から花火が打ち上がるほか、氷の上で永遠の愛を誓う「氷濤(ひょうとう)ウエディング」、力強い和太鼓の演奏を楽しむ「氷濤ダイナミックナイト」、氷切りゲーム大会、フラワープレゼントなど、さまざまなイベントも。氷のオブジェを色とりどりに照らすライトアップは、16時30分から。支笏湖まつり実行委☎0123－23－8288。

第29回しんとつかわ雪まつり

1月26日(日)10時～14時、新十津川町農村環境改善センター前広場・北中央公園。一般公募の10団体が作った個性豊かな鍋料理を格安で販売し、来場者の箸(はし)の投票で大賞を決める「冬鍋大会」と、特大中華鍋に座って雪の土俵で押し相撲を繰り広げる「国際中華鍋押相撲選手権大会－WAJIMA－」(9時15分参加受付、先着順)をメインイベントに、寒い冬を温かく過ごすお祭り。会場ではジャンボすべり台や幼児向けのミニすべり台が設置され、100～200円で味わえる冬鍋のほか、地元の出店販売、餅まき、甘酒配布、〝札沼線ラストラン抽選会〟なども。しんとつかわふるさとまつり実行委(新十津川町産業振興課)☎0125－76－2134。

日程などが変更になる場合もありますので、事前に確認の上お出かけ下さい。

バランス感覚が問われる〝中華鍋押相撲〟(新十津川町)

道内のイベント

江別生涯学習インストラクターの会が子育て支援事業

「親子で遊ぼう☆ヒントがいっぱい」

1月25日、野幌公民館

冬の1日、親子でリズム運動や、手遊び、体を使って遊ぼう！江別生涯学習インストラクターの会の子育て支援事業「親子で遊ぼう☆ヒントがいっぱい」が1月25日(土)午前10時30分～11時30分、野幌公民館1階和室(野幌町13－6、JR野幌駅8分)で開かれる。参加無料。対象は0歳～3歳の幼児とその保護者で先着20組。事前申し込みほか、当日参加も受け付けるという。

講師は、風の子文庫の真島紀恵子さんと片桐亜結子さん。絵本や遊びを通しての、子育てのヒントを親子で実践しながら学ぶ。「身近なものでおもちゃを手作り」のヒントもあるという。

申し込み・問い合わせ／同会・松山さん☎383－5751(留守電対応)。

札大の瀬川拓郎教授、東大の青山潤教授ら招き…講演会ほか

市民フォーラム2020「サケと生きる」

1月25日、札幌エルプラザ

札幌ワイルドサーモンプロジェクト(SWSP)が主催する市民フォーラム2020「サケと生きる」が1月25日(土)午後1時～4時30分、札幌エルプラザ・3階ホール(北8西3、JR札幌駅北口3分地下通路直結)で開催される。入場無料。当日直接会場へ。

主なプログラムは次の通り。◇基調講演▽「サケからみたアイヌ社会」(13時10分～)…講師は札幌大学の瀬川拓郎教授。▽「三陸からみたサケと人との関わり」(13時40分～)…講師は東京大学大気海洋研究所の青山潤教授。▽「パネルディスカッション」(14時10分～)。▽「札幌大学ウレシパクラブ」(15時30分～)＝学生たちがアイヌの劇と演舞を披露。

問い合わせ／SWSP事務局☎582－7555。

瀬川拓郎教授

青山潤教授

大内定義氏が「名誉市民」に

1月24日、市役所

江別市は、元市長の大内定義氏を名誉市民とすることを決定した。

大内氏は、1971年から1979年まで江別市長を務めた。

大型犬保育科の学生や専任スタッフと冬遊び！

子育て支援センター「ぐーまー」「ふゆまつり」

1月25日、札幌大谷短大

札幌大谷大学短期大学部保育科子育て支援センター「ぐーまー」の「ふゆまつり」が1月25日(土)午前10時～午後3時、同大学A棟(東区北16東9、地下鉄東区役所前駅10分)で開かれる。入場無料。当日直接会場へ。

同大学の学生とNPO法人子育て応援かざぐるまの専任スタッフや教員と、ソリ遊びや雪遊びを楽しむほか、学生による演奏会などもある。午後1時15分～2時までは食堂も営業しているとのこと。

問い合わせ／同センター☎742－1690。

約90人が参加する詩吟の発表会…

「第46回新年交歓吟詠大会」

1月26日、えぽあホール

江別市内で活動する詩吟の団体など約90人が吟ずる「第46回新年交歓吟詠大会」が1月26日(日)昼12時～午後4時、えぽあホール(江別市民文化ホール／大麻中町26－7、JR大麻駅5分)で開かれる。入場無料。直接会場へ。

問い合わせ／林正さん☎387－2228。

「色とあかり」にスポット…あかりによる色の違い体験も

「安心・快適シニア世代のインテリア」

1月31日、かでる2・7

「色とあかり」にスポットを当て照明の使い方、コツを学ぶ。

「綺麗な花の育て方と街を彩る植栽術」

2月4日、野幌公民館

花や緑をいかした様々な環境づくりに取り組み、北海道に魅力的な景観を生み出している、㈲緑花計画代表取締役の笠康三郎氏を迎える、花のある街並みづくり講演会「花のプロから学ぶ綺麗な花の育て方と街を彩る植栽術」が2月4日(火)午後1時30分～3時30分、野幌公民館ホール(野幌町13－6、JR野幌駅8分)で開かれる。参加無料。定員は先着100人。申し込みは1月31日(金)まで。

健全で美しい花の育て方や植栽術について講演してもらう。笠氏は、愛媛県松山市出身。北大農学部非常勤講師、北海道フラワーマスター認定講習会講師、大通花壇コンクール審査員などの公職を務めるほか、滝野公園カントリーガーデンや旭川北彩都ガーデン、大雪森のガーデン、十勝ヒルズなどの整備を手がけているという。

申し込み・問い合わせ／江別市民憲章推進協議会事務局(江別市役所環境課)☎381－1046。

瀬川拓郎教授

氷濤まつり

2020年干歳・支笏湖

1月24日(金)～2月16日(日)9時～22時、支笏湖温泉一帯。スプリンクラーを使い、湖水を凍らせて作った大小さまざまな氷のオブジェが演出する幻想的な世界を楽しむお祭り。期間中の土・日・祝日は18時30分から花火が打ち上がるほか、氷の上で永遠の愛を誓う「氷濤(ひょうとう)ウエディング」、力強い和太鼓の演奏を楽しむ「氷濤ダイナミックナイト」、氷切りゲーム大会、フラワープレゼントなど、さまざまなイベントも。氷のオブジェを色とりどりに照らすライトアップは、16時30分から。支笏湖まつり実行委☎0123－23－8288。

幻想的な世界を演出するオブジェのライトアップ(千歳市)

第29回しんとつかわ雪まつり

1月26日(日)10時～14時、新十津川町農村環境改善センター前広場・北中央公園。一般公募の10団体が作った個性豊かな鍋料理を格安で販売し、来場者の箸(はし)の投票で大賞を決める「冬鍋大会」と、特大中華鍋に座って雪の土俵で押し相撲を繰り広げる「国際中華鍋押相撲選手権大会－WAJIMA－」(9時15分参加受付、先着順)をメインイベントに、寒い冬を温かく過ごすお祭り。会場ではジャンボすべり台や幼児向けのミニすべり台が設置され、100～200円で味わえる冬鍋のほか、地元の出店販売、餅まき、甘酒配布、〝札沼線ラストラン抽選会〟なども。しんとつかわふるさとまつり実行委(新十津川町産業振興課)☎0125－76－2134。

日程などが変更になる場合もありますので、事前に確認の上お出かけ下さい。

バランス感覚が問われる〝中華鍋押相撲〟(新十津川町)

道内のイベント

読者5組10人

生演奏で楽しむ人形劇…人形展も

人形劇「氷の魔女と太陽の子ら」

2月15日、やまびこ座ほか

多数の人形劇団が合同で作る、人形劇フェスティバル2020年さっぽろ冬の祭典の「氷の魔女と太陽の子ら」が2月15日(土)、16日(日)①午前11時②午後2時、札幌市こどもの劇場やまびこ座(東区北27東15)、2月22日(土)、23日(日)①午前11時②午後2時、札幌市教育文化会館・小ホール(北1西13、地下鉄西11丁目駅1番出口5分)で開かれる。1月28日(火)必着。

問い合わせ／札幌人形劇協議会☎753－2858。

「氷の魔女と太陽の子ら」

読者5組10人を招待